

育 Me 科 学習指導案「うれしいことしんぱいなこと」

○ねらい

誰にでも、うれしさ、楽しさ、心配、イライラの感情があることに気づき、これらの感情が生起する場面を説明できる。また、これらの感情を周囲の人に言葉で伝えることができる。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入 8分	<p>1 あいさつ</p> <p>2 学習内容の理解</p> <p>・日常生活の中で、どのような感情があるか、前回の育 Me の授業を振り返りながら考える。</p> <p>うれしい/怒り/悲しい/楽しい/恥ずかしい/怖い 等</p> <p>・今日取り上げる感情(楽しい/うれしい/心配/イライラ)について確認する。</p> <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>いろいろな気持ちを言葉で伝えよう</p> </div>	<p>・前回までの育 Me では、いろいろな感情によって表情やしぐさが違うことを学習してきたが、今回はその感情を言葉で伝えていくことに焦点をあてる。</p>	<p>・「おかめあいさつ」を確認してから挨拶をする。できている児童を褒める。</p> <p>・前回の育 Me「いろいろな気持ち」を想起させる。</p>
展開 30分	<p>4 活動1(感情が生起する場面を考える)</p> <p>○どんな時にその感情になるのかを考える。</p> <p>・4人でグループになり活動する。</p> <p>・段ボールの中に入ったボールを一つ選び、そのボールに貼ってある気持ちになる場面を想起して発表する。</p> <p>5 活動2(感情語の選択)</p> <p>○6枚の絵を示し、それぞれの場面で、楽しい、うれしい、心配、イライラのうちのどの気持ちになるのか考える。</p> <p>6 活動3(きもちすごろくゲーム)</p> <p>○「きもちすごろく」の説明をする。(モデリング)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>きもちすごろく</p> <p>① さいころを振って、出た目の数だけ進む。</p> <p>② 止まったマス of 文章を読んで、そのときの気持ちを説明する。</p> <p>③ うまく説明できなければ、2マス戻る。</p> <p>④ 言い方「……(理由)なので、……(感情)です。」</p> </div> <p>・4人のグループですごろくゲームをする。</p>	<p>・人によって感情が生起する場面は異なることに気づかせる。</p> <p>・メタモジで場面絵を提示する。</p> <p>・それぞれの場面でどの気持ちになるか問いかけ、同じ場面でも人によって気持ちが違うことに気づかせる。</p> <p>・気持ちを言う前に「少し」「ちょっと」「とても」「かなり」などを付け加えている児童や、理由を詳しく言っている児童を認め、全体に広める。</p> <p>・繰り返し行い、できるだけたくさん話せるようにする。</p>	<p>・「上手な聞き方」を意識させる。</p> <p>・話を聞いて、共感したり反応したりしている姿を認める。</p> <p>「かいわは聞くことから」</p>
まとめ 7分	<p>7 ふりかえり</p> <p>・感想を振り返りシートに書く(3分)。</p> <p>・感想を発表し、交流する。</p> <p>→同じ場面でも人によって思うことは違うと分かった。</p> <p>→思ったことは伝えていこうと思った。</p> <p>8 あいさつ</p>	<p>・誰にでも、うれしい、楽しい、心配、イライラなどの気持ちになる場面があることや、これらの感情を周りの人に言葉で伝えていくことが大切であることをおさえる。</p>	

【準備するもの】 ・感情シート ・段ボールと感情ボール ・きもちすごろく ・振り返り用ワークシート